平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　株式会社ショーエイコーポレーション　　上場取引所　大
コード番号　9385　URL　http://www.shoei-corp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 芝原　英司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 有村　芳文　TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,939	―	102	―	191	―	104	―
24年3月期第3四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　109百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.54	―
24年3月期第3四半期	―	―

平成25年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,674	1,765	23.0	273.86
24年3月期	―	―	―	―

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,765百万円　24年3月期　―百万円

平成25年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	7.50	7.50
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,014	―	313	―	280	―	145	―	21.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社クルー 、 除外 ―社 (社名)

(注)特定子会社の異動には該当いたしませんが、株式会社CSを当第3四半期より連結子会社としております。
詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,850,000 株	24年3月期	6,850,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	402,000 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,749,135 株	24年3月期3Q	6,850,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報…… 2
(1)連結経営成績に関する定性的情報…… 2
(2)連結財政状態に関する定性的情報…… 2
(3)連結業績予想に関する定性的情報…… 2
2.　サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 3
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 3
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 3
3.　継続企業の前提に関する重要事象等の概要…… 3
4.　四半期連結財務諸表…… 4
(1)四半期連結貸借対照表…… 4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 6
四半期連結損益計算書…… 6
四半期連結包括利益計算書…… 7
(3)継続企業の前提に関する注記…… 8
(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 8

1.　当四半期決算に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興対策等を背景に、個人消費が予想外に底堅いこともあり、景気の緩やかな回復傾向がみられましたが、欧州債務問題ならびに新興国経済の減速など、景気の先行きには不透明感が拭えない状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、政権交代による経済政策への期待感から足元では持ち直しの動きもみられるものの、為替変動の影響が考えられる原材料価格の高騰や電気料金の値上げ等の懸念が一層強まり、厳しい事業環境となりました。

このような中、当社は10月に株式会社ＣＳ及び株式会社クルーを子会社化し、商品企画開発力及び調達力を強化してまいりました。さらに３社の顧客基盤を共有化することで新たなチャネルの創造、人材や設備さらにはノウハウの活用等、グループとしての収益力の向上と強固な事業基盤の再構築を進めております。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は7,939百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は102百万円、デリバティブ評価益があったことから経常利益は191百万円、四半期純利益は104百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パッケージ事業)

当セグメントは、当社グループの主力事業であり、プラスチックフィルムを主材料とした包装資材やフィルムパッケージ製品の企画、製造、販売を行っており、お客様の持つ製品や商品をパッケージ等に包装加工するサービスの提供を行っております。またあわせて、これらの企画からサービスの提供までを一貫して行う提案型営業を展開しております。

当第３四半期連結累計期間につきましては、売上高5,456百万円となりました。

(メディアネットワーク事業)

当セグメントは、お客様の冊子やカタログをプラスチックフィルムで封入、封緘し、ダイレクトメールとして仕上げる作業を展開しております。こうした一気通貫サービスを利用し、開封率アップや煩わしさの低減などの提案を行っております。

当第３四半期連結累計期間につきましては、売上高1,949百万円となりました。

(日用雑貨品事業)

当セグメントは、日用雑貨品の企画販売を主力とし、100円均一ショップ等の専門店を得意先としております。また商品の仕入れにつきましては海外協力メーカーとの強いパイプによる高い原価逓減力と仕入ノウハウを備えております。

当第３四半期連結累計期間につきましては、売上高579百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は7,674百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金2,378百万円、たな卸資産1,071百万円、有形固定資産2,003百万円等であります。

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は5,909百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金1,465百万円、借入金2,992百万円等であります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,765百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金1,464百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月９日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2.　サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結累計期間から、株式会社ＣＳ及びその子会社である株式会社クルーを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3.　継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	758,204
受取手形及び売掛金	2,378,191
製品	921,674
仕掛品	111,709
原材料	38,357
その他	588,096
貸倒引当金	△39,062
流動資産合計	4,757,171
固定資産	
有形固定資産	
土地	1,222,638
その他（純額）	781,219
有形固定資産合計	2,003,857
無形固定資産	
のれん	246,201
その他	36,153
無形固定資産合計	282,355
投資その他の資産	
その他	699,749
貸倒引当金	△69,595
投資その他の資産合計	630,154
固定資産合計	2,916,367
繰延資産	1,440
資産合計	7,674,978
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,465,600
短期借入金	1,428,027
1年内償還予定の社債	154,720
1年内返済予定の長期借入金	458,072
未払法人税等	9,480
未払消費税等	45,951
賞与引当金	44,800
その他	337,927
流動負債合計	3,944,580
固定負債	
社債	416,440
長期借入金	1,106,890
退職給付引当金	51,182
役員退職慰労引当金	143,479
その他	246,553
固定負債合計	1,964,545
負債合計	5,909,125

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部	
株主資本	
資本金	229,400
資本剰余金	146,800
利益剰余金	1,464,989
自己株式	△71,556
株主資本合計	1,769,633
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△3,780
その他の包括利益累計額合計	△3,780
純資産合計	1,765,853
負債純資産合計	7,674,978

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	7,939,939
売上原価	6,623,867
売上総利益	1,316,072
販売費及び一般管理費	1,213,262
営業利益	102,809
営業外収益	
受取利息	660
受取配当金	1,746
デリバティブ評価益	131,546
その他	8,713
営業外収益合計	142,667
営業外費用	
支払利息	16,570
為替差損	26,632
貸倒引当金繰入額	580
その他	9,988
営業外費用合計	53,772
経常利益	191,704
特別損失	
固定資産売却損	778
特別損失合計	778
税金等調整前四半期純利益	190,925
法人税、住民税及び事業税	28,911
法人税等調整額	57,140
法人税等合計	86,051
少数株主損益調整前四半期純利益	104,874
四半期純利益	104,874

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	104,874
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,968
その他の包括利益合計	4,968
四半期包括利益	109,843
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	109,843
少数株主に係る四半期包括利益	－

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。